

甘木工場

品質・規模でグループをリードする
トラック・バス用タイヤ工場

操業開始 1973年5月(現在の国内タイヤ工場の中で8番目に操業開始)

敷地面積 392,267m²

生産品目 トラック・バス用、小型トラック用タイヤ



①正門 ②事務所 ③工場 ④体育館

トラック・バス用ラジアルタイヤのグローバル供給基地

甘木工場は1973年、ブリヂストンで8番目の国内タイヤ工場として誕生しました。1977年から、長距離・高速輸送時代に対応してトラック・バス用ラジアルタイヤの生産を開始しました。現在ではグローバル供給基地として、日本国内のみならず欧米やアジア、中近東、アフリカなど世界の市場に向けてトラック・バス用ラジアルタイヤを生産しています。

海外での高い評価を支える人と技術

ブリヂストンのトラック・バス用ラジアルタイヤの品質は、日本のみならず世界の市場で高く評価されています。その中で甘木工場では、熟練技能員の匠の技と、最新のタイヤ製造技術の融合、地道な生産性向上によりグローバルを牽引する高品質のタイヤを生産し続けています。

甘木工場はトラック・バス用タイヤのグローバルマザープラントとして、世界市場へのタイヤ供給のみならず、海外工場への技術・管理方法の発信基地の役割も担っています。毎年多くの海外工場／技術センターのスタッフを受け入れ、現物現場でディスカッションし、世界規模での品質向上に寄与するとともに、甘木工場の更なるレベルアップにもつなげています。

ブリヂストングループは、サステナビリティへの貢献が大きいリトレッドを中核に、リアルとデジタルを組み合わせることで、お客様にタイヤを安全に、長く、上手く、効率的にご使用いただくための循環ビジネスモデルの確立を進めており、甘木工場はその循環型ビジネスモデルの構築に貢献していきます。



M888



W999

地域社会の一員として

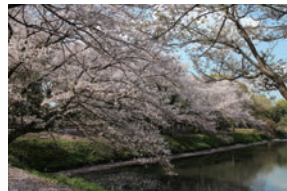
甘木工場では年間を通して様々なイベントを実施しています。ブリヂストン吹奏楽団久留米による定期演奏会は、多くのお客様にお越しいただいており会場は毎年満員となっています。けやきの杜で行われるお祭りや12月から1月にかけて実施するクリスマスイルミネーションなども地域の皆様楽しんでいただいています。その他にも、筑後川の清掃活動や社会科見学受入、県道花壇の植栽活動など、地域社会との共生のための活動を推進しています。

環境に配慮した工場を目指して

ブリヂストングループは「環境宣言」の中で、「未来のすべての子供たちが『安心』して暮らしていくために…」という変わらない思いをうたっており、それに基づいた環境保全活動に取り組んでいます。

甘木工場は周囲が樹木で囲まれた「緑の中の工場」として、また農地と住宅地が混在している地域に隣接する工場として地域社会との融和を図りつつ、「環境にやさしい工場づくり」を目指しています。

具体的には「生活用水を循環使用し、排水を外に出さない」、「騒音が工場外に漏れないよう動力施設を工場中央に配置する」、「工場の周辺に樹木を植えグリーンベルトを形成する」などの工夫を取り入れています。



春を彩る桜



新緑のケヤキ並木

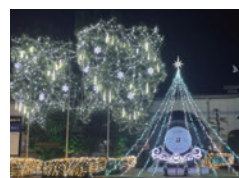
こうした努力が認められて、甘木工場は1985年に「緑化推進運動功労者」として総理大臣賞を受賞しています。また、甘木工場が立地する朝倉市は「ほたるの里」として知られていることもあり、工場敷地内の雨水調整池を活用し、ほたるが生息できるビオトープを2008年に開設しました。地域の皆様と共にほたるの成長を実際に鑑賞する機会を設け、地域の自然環境へさらに関心をもっていただくきっかけづくりにも努めています。また工場内にはお茶の木が植えられており、毎年5月に従業員で茶摘みを行い、新茶を周辺地域の福祉施設の皆様にも味わっていただいています。



園児を招いたホテル放流会



従業員による茶摘み



クリスマスイルミネーション



県道花壇の植栽活動



私にもできる、ドライブ前のチェックポイント

空気圧点検

ご存知でしたか、タイヤの空気圧は自然に低下します(1ヶ月で約10~20kPa)。走る前に冷えている状態で定期的(月1回)に点検してください。適正空気圧は車種によって異なります。運転席側のドア付近に貼付された、空気圧表示シールで確認してください。

エアゲージをお持ちでない方は...



マークのある販売店では、タイヤの安全点検を実施しております。お気軽にお立ち寄りください。

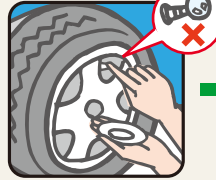


タイヤが冷えているのを確認してから
走行直後はタイヤ、ホイールが熱くなっている場合がありますのでご注意ください。



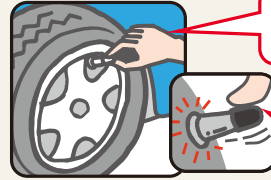
エアゲージ

ホイールにあるバルブの口にセットして空気圧の過不足を測ります。



石鹸水

石鹸水をつかって、バルブからの空気の漏れがないか確認します。



バルブキャップ

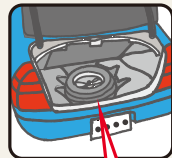
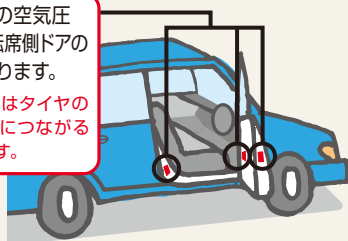
点検後は、バルブのキャップを忘れがちです。しっかり締め直しましょう。

バルブキャップはしっかりと締めよう。

バルブの根元も痛んでいないか空気もれがないかチェック!

●空気圧不足の時は、お近くのタイヤショップかガソリンスタンドなどで充填してください。

メーカー指定の空気圧表示シールは運転席側ドアのこの辺りにあります。
空気圧の過不足はタイヤの性能低下や事故につながるおそれがあります。



スペアタイヤの点検も忘れずに!

チッ素ガスのお勧め

タイヤの空気圧は時間とともに少しずつ低下します。チッ素は空気比に比べてこの「自然低下」を抑えることができます。

チッ素ガス充填のメリット

- ① 空気圧に比べ、内圧の低下が少ないため、管理がしやすい。
- ② 内圧の低下を抑えることにより、操縦安定性の維持向上、偏摩耗の抑制、燃費の維持に貢献する。

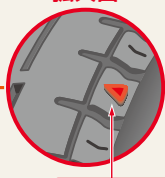


タイヤの外観チェック

これが摩耗の危険サインです!



拡大図

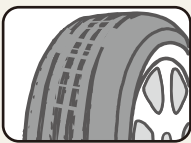


残り溝が1.6ミリになる目安としてスリップサインを付けています。スリップサインが1ヶ所でも出ると使用することを法律で規制されています。

1ヶ所でも、溝がとぎれるスリップサインがでると危険です

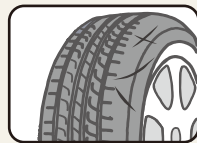
これがスリップサイン表示マークです

タイヤチェック、3つのポイント



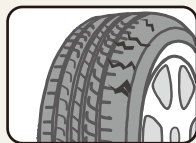
① ミズ

すり減ったタイヤの雨の日は、制動距離が伸びて危険。ハイドロプレーニング現象も起こります。



② キズ

小さなキズが大きなバーストを起こす可能性があります。



③ ヒビ

古く劣化してヒビ割れができていないかをチェック。

タイヤの空気圧が適正値より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合、市街地で2%程度、郊外で4%程度それぞれ燃費が悪化します。※1

燃費悪化率2% (市街地)、月に1,000km走るとして燃費=10km/l、ガソリン代=146円/l ※2で

なんと ガソリン代約3,500円/年の損失※3

更に CO2排出量も増加します。

出典 / ※1: (社)日本自動車工業会

※2: 石油情報センター2007年8月平均レギュラーガソリン単価

※3: (社)日本自動車工業会のデータに基づきブリヂストンにて試算

当社に関する情報は、下記ホームページでもご覧いただけます。

<https://www.bridgestone.co.jp>

株式会社ブリヂストン

甘木工場
福岡県朝倉市小田2011 〒838-0051
電話 (0946) 22-7111



甘木工場 / 西鉄甘木線 甘木駅下車 タクシー約10分
大分自動車道 甘木ICより約10分